

## 鳥取市議会建設水道委員会会議録

会議年月日	令和4年2月25日（金曜日）		
開 会	午前9時58分	閉 会	午前10時51分
場 所	市役所本庁舎6階 会議室6-7・8		
出席委員 (8名)	委員長 雲坂 衛 副委員長 勝田 鮮二 委 員 荻野 正己 太田 縁 前田 伸一 岡田 信俊 山田 延孝 吉田 博幸		
欠席委員	なし		
委員外議員	なし		
事務局職員	局長補佐 米田亜希子 議事係主事 田中 真一		
出席説明員	<b>【水道局】</b> 水道事業管理者 武田 行雄 副 局 長 西垣 昭宏 次長兼経営企画課長 中島 憲啓 次長兼工務課長 寸村 忠良 次長兼総務課長 川戸 敏幸 総務課課長補佐 長石 和久 総務課財務係長 横原 慎吾 総 務 課 主 幹 竹田美智子 経営企画課課長補佐 青木 達矢 経営企画課広報係長 前田 恵一 資産管理課長 福本 優 資産管理課参事 西本 道則 料 金 課 長 渡辺 寛存 料金課課長補佐 佐々木 基 給水維持課長 西平 修一 給水維持課課長補佐 木本 裕治 工務課課長補佐 谷口 洋一 浄 水 課 長 八木谷義人 浄水課水質検査室長 大島 徳明 南地域水道事務所長 楮原 昌宏 西地域水道事務所長 中村 賢司 西地域水道事務所長補佐 末石 匡昭		
傍 聴 者	なし		
会議に付した事件	別紙のとおり		

午前9時58分 開会

## 【水道局】

◆雲坂 衛委員長 皆様、おはようございます。

ただいまから、建設水道委員会を開催いたします。まず、本日の日程でございますが、水道局の先議分議案につきまして、説明、質疑、討論、採決まで行い、その後、令和4年度当初予算の説明を受けたいと思います。

説明に入ります前に、この場の皆様方に一言申し上げます。まず、発言を行う際には、執行

部の皆様は、発言前に必ず所属・氏名を述べてから御発言ください。また、質疑及び説明、答弁は簡潔にさせていただき、十分審査していただきますよう、執行部及び委員の皆様にお願いたします。

それでは、議案審査に入ります前に、武田水道事業管理者に御挨拶をお願いしたいと思います。

○武田行雄水道事業管理者 おはようございます。

なかなかの寒い日が続いております、こんな時期に、こんなにたくさん雪が降るのは、近年あんまりないのかなあってというような気候でございます。水道が一番心配するのは、凍結の破裂を心配したりするわけですが、何とかこの冬は、大きな被害、集中した被害というものではなく、乗り切れそうなあंबいでございます、ちょっとほっとしているところであります。

本日、先ほど、雲坂委員長のほうから御案内ありましたように、最初に2月補正予算を審議していただきます。その後、令和4年度の当初予算ということで、水道事業、工業用水道事業、それぞれ説明させていただきますので、どうかよろしくお願いたします。

#### 議案第37号令和3年度鳥取市水道事業会計補正予算（説明・質疑・討論・採決）

◆雲坂 衛委員長 それでは、先議分、議案第37号令和3年度鳥取市水道事業会計補正予算を御説明ください。川戸次長。

○川戸敏幸次長兼総務課長 はい。次長兼総務課長、川戸です。議案第37号令和3年度鳥取市水道事業会計補正予算（第2号）につきまして説明をいたします。お配りしております令和3年度2月補正予算についての資料で、説明を進めさせていただきます。

補正予算の概要です。水道事業会計には2つの区分がございます。1つが上の3行、収益的収支です。水道事業の営業活動によって発生する収入と支出となります。1行目です。収益的収入の補正予定額は、253万5,000円増額です。備考欄に、主な内容を記載しております。配水管移設等負担金、これは、配水管の支障移転などに関わる工事の負担金であります、の増、統合前簡易水道事業における他会計補助金の減などによるものでございます。

次に、収益的支出の補正予定額は、7,929万6,000円減額です。備考で、施設・設備の維持管理でありますとか、原因者工事等の減によるものでございます。

収益的収支の差引きです。既決予定額2億8,180万3,000円、補正予定額が8,183万1,000円、補正後は3億6,363万4,000円の黒字を見込んでおるところでございます。

水道事業会計のもう1つの区分、資本的収支です。これは、水道施設整備など、1年間の設備投資に関わる収入と、そして支出になります。資本的収入は、配水工事負担金の減によりまして、5,692万8,000円減額補正を計上しております。配水工事負担金は、原因者工事を行う際に、原因者となります県でありますとか市が負担する費用ということになります。原因者工事の減少に伴いまして、配水工事負担金が減少をしたものです。

資本的支出は、地域水道整備事業、原因者工事、営業設備費の減によりまして、6,793万1,000円の減額補正を計上しております。

資本的収支の差引きです。補正後の不足額となります、右端の数字でございます。21億4,527万2,000円は、備考欄にございます過年度分損益勘定留保資金等で補填することとしております。

表の一番下に、下の行になります。財政規模です。補正後における収益的支出と資本的支出の合計であります財政規模は、1億4,722万7,000円減少をいたしまして、85億5,267万3,000円となっております。以上が補正予算の概要となります。

続きまして、収益的支出の補正につきまして、主立った内容を御説明いたします。1の施設・設備の維持管理等は、4,778万3,000円減額補正としております。施設保守点検業務委託料、施設撤去設計委託料の減等としております。

2の原因者工事等は、2,542万円の減額補正としております。配水管移設・布設替え工事における撤去費の減等となります。以上が、収益的支出関係となります。

続く2ページ、3ページでは、資本的支出、主要な建設改良事業の補正につきまして、主な内容を御説明いたします。建設改良費は、老朽化した水道施設や水道管の更新・耐震化などを推進しまして、水道事業、水道サービスを維持・継続するために必要な事業でございます。補正の要因としましては、事業費の決算見込みでありますとか、工事内容の変更、入札執行等に伴う減少ということになります。それぞれの事業の表には、左側に補正の項目と補正額を、右側に、その財源内訳を記載しております。

1の配水施設整備事業です。主に、送水施設、配水池、送配水管の新設など、配水施設の整備事業でございます。19万4,000円の減額補正と事業としてはしております。内訳となります表、左列の項目欄であります、委託料が減額、工事請負費を増額としておりまして、結果、配水施設整備事業といたしましては、19万4,000円の減額となったものでございます。

2地域水道整備事業。平成29年度に上水道に統合しました、簡易水道地域の施設整備を行う事業、地域水道整備事業です。1,415万6,000円の減額補正でございます。

3の配水管等改良事業です。震災対策整備や原因者工事を行います、配水管等改良事業は、428万3,000円の減額補正です。項目欄であります、委託料においては、震災対策整備の関係で、水管橋や橋梁添架管の耐震補強設計の増というのが主となります。また、工事請負費におきましては、震災対策整備事業として、河原町におきまして、応急給水拠点整備事業を実施したことによる増でありますとか、原因者工事の減少等が内訳としてございます。

4の諸施設整備事業です。電気計装・機械設備などの更新事業で、3,178万3,000円減額補正となっております。入札執行などによる減額が、主な内容となっております。

5の営業設備費です。1,751万5,000円減額補正です。量水器は、水道メーターであります、などの器具購入費、また、軽貨物車購入、公用車の車両購入費が減少となったことによるものです。こちら、入札執行などによる減額が主な内容となっております。

続きまして、令和3年度鳥取市水道事業会計補正予算（第2号）説明書でございます。これまで説明しました補正予算、概要の詳細につきまして、予算科目ごと、また、予算科目の節ごとに記載したのになります。5ページ、6ページが収益的収支でございます。先ほど、1ページで、主な補正内容といたしまして、収益的支出の補正を2つの項目として触れさせていた

できました。この収益的支出の補正につきまして、説明を加えさせていただきます。

まず、1ページにありました、1施設・設備の維持管理費等についてでございます。5ページの下の方で、1水道事業、1営業事業、1原水及び浄水費。原水及び浄水費は、取水、浄水、送水設備の維持に要する費用をいいます。この節の2行目になります、委託料です。右の説明で、施設保守点検業務と、施設撤去設計費の減が、その内容となっております。補正予定額は3,633万円の減で、1ページ、施設・設備の維持管理費の補正額、約4,780万円のうちの多くを占めておるところでございます。

続きまして、2原因者工事等の関連でございます。水道事業費用、営業費用、2配水費です。配水費は、配水管の維持に要する費用でございます。配水費の節で4行目です。工事請負費です。仮設・撤去費の減等を説明といたしまして、この補正予定額を、そのまま主な補正として上げさせていただいております。以上が、収益的支出につきましての補足説明となります。

続きましての7ページからが資本的収支です。2ページ、3ページで、主要な建設改良事業として、事業ごとに説明をさせていただきました。

8ページです。資本的収支の続きの表ということになりますが、上のほうの表で、一番下の行になります。収支差引き不足額です。資本的収支の補正によりまして、収支差引きで不足する額は、1,100万3,000円減少いたしまして、21億4,527万2,000円となります。

その下でございます。4行からなっております表が、補填財源説明で、補填財源の内訳表となっております。先ほど上の表で申し上げました、資本的収支の差引き不足額につきましては、内部留保資金、企業内に留保されている自己資金であります、過年度分損益勘定留保資金などで補填をすることとしております。

令和3年度2月補正予算につきましての説明は、以上となります。

◆雲坂 衛委員長 御説明を受けました。

これより、質疑を行います。質疑のある方は、順次御発言ください。前田委員。

◆前田伸一委員 はい。では、5ページの収益的支出で、原水及び浄水費の委託料が、3,633万円減というふうになってまして、かなり1割以上減になってるんですけども、この説明で、施設保守点検業務と施設撤去設計費の減というふうになってるんですが、もう少し詳しく説明していただけたら、ありがたいなと思います。

◆雲坂 衛委員長 川戸次長。

○川戸敏幸次長兼総務課長 はい。次長兼総務課長、川戸でございます。原水及び浄水費、委託料の部分の減の詳細な説明をということでございました。施設保守点検業務、そこに説明として書いております。このことにつきましては、入札執行等による減ということでございまして、施設撤去設計費の減ということにつきましては、宇倍野の浄水場、これは、現在の江山の浄水場から水を送っております。それまでは、宇部野浄水場で水を浄水して、その地域に配っていったという、国府町の中にある施設でございました。これの切替えを行いましたので、宇倍野の浄水場はもう不要となってまいります。その宇部野の浄水場を撤去するに当たりまして、初め、委託料で撤去の設計を上げさせていただいておりますけれども、自前で設計を行ったことによりまして、ここの撤去設計費の減ということで、大きく減っておるということでござい

ます。

◆雲坂 衛委員長 前田委員。

◆前田伸一委員 はい。具体的に、この3,633万円の減のうちの、どれぐらいがこの施設撤去設計費の部分になるのでしょうか。

◆雲坂 衛委員長 横原係長。

○横原慎吾総務課財務係長 財務係長、横原です。撤去設計業務は、このうち2,100万円です。

◆雲坂 衛委員長 そのほか質疑のある方は、順次御発言ください。前田委員。

◆前田伸一委員 念のために、伺いたいと思います。ちょっといつも疑問に思うんですけども、収支差引き不足分ということで、そのまず補填財源ということで、言えば内部留保資金みたいなものが充てられて、とんとんになつとるといふようであるんですけども、一応、毎年10億円とか、20億円とか、そちらの内部留保資金のほうから補填ということになってるんですけど、実際、この水道局の持っている内部留保資金の総額っていうのはどれぐらいあるのか、教えていただけたらと思います。

◆雲坂 衛委員長 横原係長。

○横原慎吾総務課財務係長 財務係長、横原です。大体20億円前後です。以上です。

◆雲坂 衛委員長 前田委員。

◆前田伸一委員 はい。20億円前後ということで、一番最後の8ページには、過年度分の留保資金が8億7,000万余りで、当年度分の留保資金が11億円余りということなんですけども、当該年度分の留保資金のその元っていうか、どっかで黒字になつとるところがあつて、ここに留保資金という形になつてるといふんですが、そこの部分というのは、どこになるのか教えていただけませんか。

◆雲坂 衛委員長 横原係長。

○横原慎吾総務課財務係長 財務係長、横原です。当年度分の損益勘定留保資金につきましては、主に減価償却費が主体となっております。

◆雲坂 衛委員長 前田委員。

◆前田伸一委員 はい。当年度分の減価償却費であるということなんですけども、その辺は、何ページを見れば、その減価償却がどれぐらいあるというのが分かるのか、教えていただけますでしょうか。

◆雲坂 衛委員長 武田水道事業管理者。

○武田行雄水道事業管理者 はい。本日説明いたしました資料とは別に、お手元のこの鳥取市水道事業補正予算書という、これの7ページを見ていただきたいんですが、これ、予算の中身の資料として、企業会計では、必ずキャッシュ・フロー計算書というものを出すようになっております。この中の、上から、業務活動によるキャッシュ・フローで、上から2段目に、減価償却費24億304万4,000円というのがございます。補正の要素とは関係ございませんので、さっきの予算説明書、簡素化、省略化しておりますけれども、この減価償却費というのは、例えば、この令和3年度ですと、この24億があると。そのうちの一部を補填財源として充当しましたと、こういう説明でございます。よろしいでしょうか。

◆前田伸一委員 はい。いいです。

◆雲坂 衛委員長 そのほか質疑のある方はありますか。よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆雲坂 衛委員長 はい。それでは、なしということで、質疑を終結します。

それでは、討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆雲坂 衛委員長 はい。討論なしと認め、討論を終結します。

これより、先議分、議案第37号令和3年度鳥取市水道事業会計補正予算を採決します。本案に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

◆雲坂 衛委員長 はい。挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

◆雲坂 衛分科会長 以上で、建設水道委員会を一旦終了し、予算審査特別委員会建設水道分科会を開会いたします。

予算審査特別委員会建設水道分科会に切替え 午前10時22分 休憩

建設水道委員会に切替え 午前10時48分 再開

## 【その他】

### 令和4年度建設水道委員会視察について

◆雲坂 衛委員長 それでは、建設水道委員会を再開します。

その他として、令和4年度建設水道委員会視察についてに入ります。2月10日の代表者会議において、新型コロナウイルス感染症に対する議会としての対応を協議しました。その中で、常任委員会及び議会運営委員会視察についても協議した結果、視察を当面見合わせる方向で、委員会に諮っていただきたいという話になりました。

これを受けて、建設水道委員会としては、例年5月頃に実施しております、県外への委員会視察を見合わせることにしたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。皆様の御意見がありましたら、お伺いしたいと思います。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◆雲坂 衛委員長 はい。では、異議なしということで、見合わせることにしたいと思います。

また、今後の管内視察等について、皆様方から御意見があれば、事務局や正副委員長におっしゃっていただき、時期を見て、改めてその協議をしたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。管内視察について、御意見等がありますか。山田委員。

◆山田延孝委員 今はこういう状況ですからね、あとは委員長、副委員長にお任せして、事務局とよく相談されてですね、実施できればそれでいいんじゃないかなと思いますので。やる、やらないも含めて、委員長、副委員長にお任せしたいと思います。

◆雲坂 衛委員長 そのほか御意見ありますか。

それでは、以上で建設水道委員会を閉会します。皆様、お疲れさまでした。

午前10時51分 閉会

令和4年2月鳥取市議会定例会  
建設水道委員会・予算審査特別委員会建設水道分科会

令和4年2月25日(金)  
6階 会議室6-7・8

水道局 (25日 10:00～)

----- < 建設水道委員会 > -----

1. 議案(説明・審査):先議分

議案第37号 令和3年度鳥取市水道事業会計補正予算(第2号)

----- < 予算審査特別委員会建設水道分科会 > -----

1. 議案(説明)

議案第19号 令和4年度鳥取市水道事業会計予算

議案第20号 令和4年度鳥取市工業用水道事業会計予算

その他 (水道局終了後)

令和4年度建設水道委員会視察について